

ES-6000H / CS-6000N / 無償バージョンアップサービスのご案内

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品と ES-6000H/CS-6000N を接続する場合、ES-6000H の一部および、CS-6000N のバージョンアップが必要です。つきましては、誠にお手数ではございますが、以下の要領で無償バージョンアップをさせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

A3 スキャナ ES-6000H をお使いの方へ

1. 内容

ES-6000H には、本製品：ESA3ADF2 に対応していない製品バージョンがあります。そのため、ご使用の際には ES-6000H のバージョンをご確認いただきますようお願いいたします。

2. バージョンの確認方法

ES-6000H 側面（正面から見て左側）に貼られているシールに、製造番号が記載されています。この製造番号で、ESA3ADF2 の使用可否を判別してください。

製造番号	使用可否
B8T0009438 以降	バージョンアップの必要はありません。
B8T0009437 以前	ES-6000H のバージョンアップが必要です。 最寄りのフィールドセンターに、ES-6000H のバージョンアップをご依頼くださいますようお願いいたします。 フィールドセンターの連絡先は、スキャナ本体に付属している取扱説明書の巻末でご確認ください。

カラーコピーサーバ CS-6000N をお使いの方へ

1. 内容

CS-6000N と本製品：ESA3ADF2 を、サーバスキャンでお使いになる場合、CS-6000N のバージョンが Ver.03.01 以前の製品はバージョンアップ*が必要です。

2. バージョンの確認方法

CS-6000N の電源をオンにします。
しばらくすると LCD パネルに右の画面が表示されます。
右下に表示される数値がバージョンを表します。



バージョンが Ver.03.01 以前の場合は、誠にお手数ではございますが、CS-6000N をバージョンアップしていただきますよう、お願いいたします。

バージョンアップの詳細については、エプソン FAX インフォメーションまたは、エプソン販売のホームページ（<http://www.i-love-epson.co.jp>）でご確認ください。

FAX 番号は、スキャナ本体に付属している取扱説明書の巻末でご確認ください。

* サーバスキャン機能を使用しない場合は、バージョンアップする必要はありません。

その他

ご不明な点がございましたら、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。
インフォメーションセンターのご連絡先は、スキャナ本体に付属している取扱説明書の巻末でご確認ください。

カラーコピーサーバ CS-6000N / モノクロコピーユニット CS-3000

との組み合わせで使用する際の注意

カラーコピーサーバ CS-6000N と組み合わせてお使いの方へ

本製品は、カラーコピーシステム（スキャナ ES-6000H、カラーコピーサーバ CS-6000N、カラープリンタ LP-8200C との組み合わせ）で使用可能です。

ESA3ADF2 使用時のコピー順序について

この ADF は、1 番上の原稿から給紙します。そのため、1 番上の原稿からコピーされます。複数枚連続コピーで、コピー後の用紙順序を原稿と同様にするには、フェイスダウントレイに排紙してください。フェイスアップトレイに排紙すると、コピーされた用紙の順序が原稿と逆になってしまいます。

CS-6000N は、工場出荷時、フェイスアップトレイに排紙するように設定されています。そのため、この ADF を使用する場合は、排紙トレイの設定を変更してフェイスダウントレイに排紙するようにしてください。

排紙トレイの設定方法については、CS-6000N に付属のユーザズガイドをご覧ください。

B5 サイズより小さい用紙は、フェイスダウントレイへの排紙はできません。自動的にフェイスアップトレイに排紙されるため、コピーされた用紙は原稿と逆の順序になります。

モノクロコピーユニット CS-3000 と組み合わせてお使いの方へ

本製品は、モノクロコピーシステム（スキャナ ES-6000H、モノクロコピーユニット CS-3000、モノクロプリンタ LP-9600S/LP-9300 との組み合わせ）で使用可能です。

ESA3ADF2 使用時のコピー順序について

この ADF は、1 番上の原稿から給紙します。そのため、1 番上の原稿からコピーされます。複数枚連続コピーした場合、コピーされた用紙の順序は、ADF にセットした原稿の順序と同じになります。

ESA3ADF2 を使用して両面 片面コピーを行う際のご注意

CS-3000 に付属のユーザズガイド 22 ページに、「両面原稿の場合：読み取る面を下に向けてセットします」と記載されていますが、この ADF (ESA3ADF2) を使用して両面 片面コピーを行なう場合は、読み取る面（両面原稿の表面）を 上 に向けてセットしてください。